

3 パッケージからのインストール

ディストリビューションパッケージからインストール

いくつかの一般的なOSのディストリビューションにはZabbixパッケージが用意されています。これらのパッケージを使用してZabbixをインストールできます。

Zabbixの最新リリースは、OSのディストリビューションには用意されない場合があります。

Zabbixの公式リポジトリからインストール

Zabbix SIAではRed Hat Enterprise LinuxDebianUbuntu LTS向けに公式RPMおよびDEBパッケージを提供しています。

パッケージファイルは、repo.zabbix.comで入手できます。そのサーバ上ではyumおよびaptリポジトリも利用できます。ここでは、パッケージからZabbixをインストールする手順を段階的に説明します。

Red Hat Enterprise Linux / CentOS

対応バージョンRHEL 5RHEL 6Oracle Linux 5Oracle Linux 6CentOS 5CentOS 6

リポジトリ設定パッケージのインストール

リポジトリ設定パッケージをインストールします。このパッケージにはyum設定ファイルが含まれていますRHEL5Oracle Linux 5CentOS 5用のZabbix 2.2の場合:

```
# rpm -ivh
http://repo.zabbix.com/zabbix/2.2/rhel/5/x86_64/zabbix-release-2.2-1.el5.noarch.rpm
```

RHEL6Oracle Linux 6CentOS 6用のZabbix 2.2の場合:

```
# rpm -ivh
http://repo.zabbix.com/zabbix/2.2/rhel/6/x86_64/zabbix-release-2.2-1.el6.noarch.rpm
```

Zabbixパッケージのインストール

ZabbixパッケージをインストールしますMySQLデータベースでZabbixサーバおよびWebインターフェースを使用する例を示します。

Zabbix公式リポジトリではfpingiksemelibssh2のパッケージも提供しています。これらのパッケージは、*non-supported*ディレクトリにあります。

```
# yum install zabbix-server-mysql zabbix-web-mysql
```

Zabbixエージェントのみをインストールする例を示します。

```
# yum install zabbix-agent
```

初期データベースの作成

MySQLでZabbixデータベースとユーザーを作成します。

```
# mysql -uroot
mysql> create database zabbix character set utf8 collate utf8_bin;
mysql> grant all privileges on zabbix.* to zabbix@localhost identified by
'zabbix';
mysql> exit
```

初期スキーマとデータをインポートします。

```
# cd /usr/share/doc/zabbix-server-mysql-2.2.0/create
# mysql -uroot zabbix < schema.sql
# mysql -uroot zabbix < images.sql
# mysql -uroot zabbix < data.sql
```

Zabbixサーバプロセスの開始

zabbix_server.confのデータベース設定を編集します。

```
# vi /etc/zabbix/zabbix_server.conf
DBHost=localhost
DBName=zabbix
DBUser=zabbix
DBPassword=zabbix
```

Zabbixサーバプロセスを開始します。

```
# service zabbix-server start
```

ZabbixのWebインターフェース用のPHP設定の編集

ZabbixのWebインターフェース用のApache設定ファイルは、/etc/httpd/conf.d/zabbix.confにあります。
一部のPHP設定は、すでに設定されています。

```
php_value max_execution_time 300
php_value memory_limit 128M
php_value post_max_size 16M
php_value upload_max_filesize 2M
php_value max_input_time 300
# php_value date.timezone Europe/Riga
```

`[date.timezone]`設定で[変更] のコメントを外し、正しいタイムゾーンを設定する必要があります。設定ファイルを変更したあとはApache Webサーバを再起動してください。

```
# service httpd restart
```

Webインターフェースは、ブラウザで<http://zabbix-frontend-hostname/zabbix>にアクセスして入手できます。デフォルトのユーザー名とパスワードは、`Admin`と「`zabbix`」です。

Debian / Ubuntu

対応バージョン `Debian 6 Squeeze` `Debian 7 Wheezy` `Ubuntu 12.04 LTS` `Precise Pangolin` `Ubuntu 14.04 LTS` `Trusty Tahr`

リポジトリ設定パッケージのインストール

リポジトリ設定パッケージをインストールします。このパッケージには`apt`設定ファイルが含まれています。

Debian 6用のZabbix 2.2の場合:

```
# wget
http://repo.zabbix.com/zabbix/2.2/debian/pool/main/z/zabbix-release/zabbix-release_2.2-1+squeeze_all.deb
# dpkg -i zabbix-release_2.2-1+squeeze_all.deb
# apt-get update
```

Debian 7用のZabbix 2.2の場合:

```
# wget
http://repo.zabbix.com/zabbix/2.2/debian/pool/main/z/zabbix-release/zabbix-release_2.2-1+wheezy_all.deb
# dpkg -i zabbix-release_2.2-1+wheezy_all.deb
# apt-get update
```

Ubuntu 12.04 LTS用のZabbix 2.2の場合:

```
# wget
http://repo.zabbix.com/zabbix/2.2/ubuntu/pool/main/z/zabbix-release/zabbix-release_2.2-1+precise_all.deb
# dpkg -i zabbix-release_2.2-1+precise_all.deb
# apt-get update
```

Ubuntu 14.04 LTS用のZabbix 2.2の場合:

```
# wget
http://repo.zabbix.com/zabbix/2.2/ubuntu/pool/main/z/zabbix-release/zabbix-release_2.2-1+trusty_all.deb
# dpkg -i zabbix-release_2.2-1+trusty_all.deb
```

```
# apt-get update
```

Zabbixパッケージのインストール

Zabbixパッケージをインストールします。dbconfig-commonがデータベースを作成し、初期スキーマとデータを自動的に投入します。データベースが別のサーバにある場合、`/etc/dbconfig-common/config`で`dbc_remote_questions_default='true'`を設定してください。

MySQLデータベースでZabbixサーバおよびWebインターフェースを使用する例を示します。

```
# apt-get install zabbix-server-mysql zabbix-frontend-php
```

zabbix-frontend-phpパッケージは、グラフ作成などで使用されるフォントをインストール中に設定します。どこか別のリポジトリから入手してパッケージを更新した場合、グラフまたはマップでテキストが表示されていない場合は、`ttf-dejavu-core`パッケージがインストールされているかどうかを確認し、`dpkg-reconfigure zabbix-frontend-php`コマンドを実行してみてください。

Zabbixエージェントのみをインストールする例を示します。

```
# apt-get install zabbix-agent
```

Webインターフェース用のPHP設定の編集

Webインターフェース用のApache設定ファイルは、`/etc/apache2/conf.d/zabbix`にあります。一部のPHP設定は、すでに設定されています。

```
php_value max_execution_time 300
php_value memory_limit 128M
php_value post_max_size 16M
php_value upload_max_filesize 2M
php_value max_input_time 300
# php_value date.timezone Europe/Riga
```

`date.timezone`設定で[変更]のコメントを外し、正しいタイムゾーンを設定する必要があります。設定ファイルを変更した後は、Apache Webサーバを再起動してください。

```
# service apache2 restart
```

Webインターフェースは、ブラウザで<http://zabbix-frontend-hostname/zabbix>にアクセスして入手できます。デフォルトのユーザー名とパスワードは、`Admin`と「`zabbix`」です。

トラブルシューティング

インストール固有の問題のトラブルシューティングのセクションを参照してください。

本ページは2014/08/05時点の原文を基にしておりますので、内容は必ずしも最新のものとは限りません。最新の情報は、英語版のZabbix2.2 マニュアルを参照してください。

From:

<https://www.zabbix.com/documentation/2.2/> - **Zabbix Documentation 2.2**

Permanent link:

https://www.zabbix.com/documentation/2.2/jp/manual/installation/install_from_packages

Last update: **2014/12/03 02:50**

